

## 大宮工業・浦和工業新校準備委員会（第4回） 議事録

- 1 日 時 令和6年5月31日（金） 午前10時開会  
午前11時30分閉会
- 2 会 場 県立大宮工業高等学校大会議室
- 3 出席委員 依田委員長、山崎副委員長、堀口副委員長、細沼委員、  
石井委員、岩崎委員、渡辺委員、宮内委員、石田委員、  
野澤委員、水島委員、金子委員、廣川委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 出井、渋沢、坂本、高辻、小川

### 5 協議等 「新校の校名検討について」

依田委員長 それでは、協議の方を進めさせていただきます。まずは、資料1を御覧いただきながら、事務局からの説明を伺っていただければと思います。事務局は説明をお願いします。

事務局 （「資料1 校名検討の流れ」について説明）

依田委員長 それでは、今の事務局からの説明につきまして、委員の皆様から御質問、御意見等がございますか。よろしいでしょうか。それでは、続けて資料2及び資料3につきまして、事務局からの説明をお願いします。

事務局 （「資料2 校名アイデア募集の概要（案）」、「資料3 校名アイデア募集案内（案）」について説明）

依田委員長 それでは一つ一つ確認をしながら皆様の御意見をいただいていると思うのですが、まず、資料1から資料3の説明の全体を通して、皆様から御意見、御質問がございましたらお願いします。はい。細沼委員お願いします。

細沼委員 確認ですが、この募集に当たって、応募自体はどなたでもできますという御説明だったのですが、校名案を提案しますというような応募があった際に、校名案を考える上で何か条件設定など、例えば、地域を表すような名称を含めるような形での応募や新校の概要、どのような学校なのかを表すような文言を入れてくださいとか、そういった条件というのは一切何も付さずにそれぞれ応募する方の自由な発想で応募いただくというような考えでよろしいのか確認させていただければと思います。

事務局 アイデア募集ということで、先ほどイメージと言いましたけれども、まず、こちらの資料3を御覧ください。この中には、どのような学校ということを明確に分かりやすく記載したいと考えています。どのような募集であるか、どういう学校であるか、ポイントはどこにあるのか、期間はどのくらいなのか、そういうところについては、デザインも含めて分かりやすくなるように検討中でございます。また、応募の中身についてですけれども、自由な発想で、色々なお考えで思いを持って応

募いただけるところもあると思うのですが、裏面を見ますと、例えば、このような形の記載を期待していますみたいな例示のようなものを考えていくことが必要かと事務局では思っています。校名だけを募集していると誤解されるとそればかりになってしまうかもしれませんので、全体を通じて、こういう学校になって欲しいという部分もアイデアとして募集していきたいと思っていますし、それこそ、この委員会の検討資料になると思っていますので、その辺を募集の段階で工夫して伝えていきたいと考えています。また、アイデアは広く募集したいと考えています。

依田委員長 よろしいでしょうか。他にいかがですか。

渡辺委員 資料2「6 その他」の中に校名アイデア募集の結果があり、校名決定後に公表ということなのですが、公表するイメージはどういうものなのでしょうか。名前をたくさん出すのか、それとも応募件数だけなのか、そのあたりを聞きたいです。

依田委員長 渡辺委員から御質問いただいたのが、「6 その他」の2行目の部分かと思います。この部分につきまして、事務局から応募数は考慮しないというところについて、少し詳細な説明をいただいて良いですか。

事務局 表の部分を含めて、数についてもお答えしたいと思います。公表について、実際には知事から議会に提出し、議決され、校名が決定された後に公表されます。それに際して、当課もホームページ等で、実はこういうアイデアが出ていましたというところを数も含めて公表したいと考えてます。先ほど委員長からもありましたが、今回、応募数を選定に当たって考慮しないというところが、関連しているところかと思います。その数の部分についても、そこで初めて公表されるイメージで考えております。なぜ、応募数について考慮しないのかというところでございますが、どこの学校もそうですが、色々な方の思いがあり、今回、アイデアとして募集をかけていますが、一つの例を言いますと、大宮工業高校と浦和工業高校では生徒の数のバランスがあり、物理的に生徒数が違います。純粋にこれから何十年と愛していただく学校名として、委員の皆様を検討いただく際には、数の部分は必要ないかと思います。そのような考えで、今回は選定に当たって、数を考慮しないと書かせていただいております。募集結果については後で公表するとしています。

渡辺委員 募集されたアイデアがたくさん出てくるのですか。

事務局 8月に予定している次回の準備委員会で、資料として提供したいと思っております。応募の状況にもよりますが、ある程度皆様にとって見やすいような形にして、まとめさせていただきます。理由はたくさんあるかもしれませんが、こういう思いがあった上でこのアイデアがありますというような形で、皆様が検討する際に分かりやすいようにまとめたものを御提供したいと思っております。

渡辺委員 それは会議の中でということですか。

事務局 そういことです。

渡辺委員 そうではなく、今後、校名決定後に報告をする結果、資料2「6 その他」の最後について、これは皆さんに行うのですよね。

事務局 そうです。最後の公表のときにはこういう案がありましたということは公表しますが、検討の中では皆様だけになるということです。

依田委員長 渡辺委員、よろしいでしょうか。はい。それでは委員の皆様にご改めて伺います。応募数は、この準備委員会の検討に当たって考慮しないという事務局の案です。それにつきまして、委員の皆様から御意見ございますか。よろしいでしょうか。はい。今、事務局から話がありました内容について、確認をいたします。次回の会議では、応募されたアイデアについて、私を含め委員の皆様には応募数を提示せずに、次回の協議を進めさせていただくというご提案が事務局からあったわけですが、それについてはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。事務局から話がありましたのは、同じ案が複数あっても、一つの案として提示されます。ただ、理由は内容によって複数提示しますということです。同じ理由は集約するということでしょうか。

事務局 はい。そのようにイメージしております。

依田委員長 事務局で作成する、次回の会議で提示する資料の作り方について、事務局でそのように考えているということですが、委員の皆様から御意見ございますか。はい。では、御賛同いただいたと捉えさせていただき、事務局でそのような資料を作成してください。

事務局 はい。承知いたしました。

依田委員長 それでは、資料2「6 その他」の2行目についての渡辺委員の質疑は御理解いただいた上で、他に皆様から御意見、御質問等はございますでしょうか。

岩崎委員 広くアイデアを募集するというごことで、大宮工業高校は来年開校100周年、浦和工業高校が62、63年となると、卒業生にとって、校名は本当に色々思いがあります。公募したときに、やっぱり自分の学校の名前を残したいという思いが出てくるかと思えます。そこで、応募数を公表しないということなので、ただ確認ということなのですが、この新校に関しては、工業に関する学科及び情報に関する学科ということ、言い方は少しおかしいのですが、工業高校ではないのですよね。そういう中で、「大宮工業高校」、「浦和工業高校」は基本的には無いだろうという思いです。学校の中の設置状況は別問題として、校名は別という考えでいるのかどうか、そこを少し確認させていただきたいと思えます。

依田委員長 これは事務局というより、私ども委員の皆様の意見の中で決定することかと考えております。この委員会は、校名案が出てきてからの2回目、3回目が本格的な協議になってくるわけですが、今、岩崎委員がおっしゃったことというのは、当然、私もあると思っております。両校の関係者は自分の学校の校名に対する思いが強いということは、おっしゃるとおりだと思っております。そこで、そのままの校名にするかどうかということは、この委員会の委員の皆様のお意見によるものだと思っております。全く新しい名前ということもあるでしょうし、工業高校という名前をどうするかということ、浦和、大宮というところをどうするかということもあると思えます。これについては、今ここで私や事務局がお答えするというよりも、2回目、3回目の協議の際に、皆様へアイデアを御覧いただく中で自由に御発議いただいた方がよろしいかと思っております。岩崎委員いかがでしょうか。

岩崎委員 それが良いかと思えます。もう一つ危惧しているのが、資料3はイメージということですが、この募集案内の新校の概要に工業科と情報科がある、という説

明を入れておくと、後々違ってくる場所もあるかと思いました。ただ、危惧されるということだけですので、皆さんで決めていくということで私はよろしいかと思えます。

依田委員長 それでは、資料3の作りについて、事務局いかがですか。

事務局 はい。例えばですが、表題で言いますと、今のイメージでは、どちらかというと校名募集に見えてしまうので、校名アイデアの募集であるという形に表題を変えたいと思っています。また、中身につきましても、岩崎委員の御発言のような思いを込めて、全体のイメージは一緒ですが、学校ごとに少しずつニュアンスとして伝わるようにしていきます。今、学校とキャッチコピーのやり取りもさせていただきながら進めているところでございます。

依田委員長 よろしいでしょうか。はい。他にございますか。金子委員お願いします。

金子委員 資料3の裏面にあります、応募用紙の記入方法について、少しイメージが湧かないのですが、真ん中から下の記入欄の●のところで、「●●新校（仮称）」と書いてありますが、この●●はなんですか。それから、例えばここに新校の名前を入れたとしたときに、その右側にある案1～案3の欄には何が入るのでしょうか。少し具体的にお話しいただくとイメージが湧くので、お願いいたします。

事務局 少し見づらいかもと思いますが、「●●新校（仮称）」というところは「大宮工業・浦和工業新校（仮称）」とさせていただき、ここに記入していただくという部分ではありません。その新校に対する校名アイデアを案1～案3に書いていただきます。その上で、それぞれの案に対しての思いを理由のところに書いていただきます。実際に記入する欄は、「案1」～「案3」、「フリガナ」及び「理由1」～「理由3」、「お名前」、生徒であればチェック、「居住地」と考えています。

依田委員長 金子委員、いかがでしょうか。「●●新校（仮称）」は「大宮工業・浦和工業新校（仮称）」になるということで良いでしょうか。

事務局 はい。そのとおりでございます。

依田委員長 よろしいでしょうか。他にいかがですか。

水島委員 まず一つ、これは大宮工業側、浦和工業側両方とも今の部分のお願いというところではありますが、これからできる新校の名前は、これから卒業する生徒にとっても、元〇〇高校、今の△△高校という形で、並列で語っていく名前になっていくというところがあるかと思えますので、ホームルームなどでお話をさせていただくなど、是非、各校の生徒からの応募も増やしていただきたいと考えております。資料3ですが、こちらの方は各中学校や高等学校にも配布をして、大きく募集をかけるというところです。この資料3の表面に「新校のキャッチコピーを記載」というところがありますが、具体的なキャッチコピーは挙がっている状況なのでしょうか。

依田委員長 それではまず、各校の生徒の応募を増やすという点について、2回目の委員会で色々なアイデアを御提示いただくということになりましたが、生徒のところにチェック欄があるという説明をしていただいたと思うのですが、生徒の応募は我々委員にはどうお見せいただけますか。

事務局 はい。生徒については、先ほどの公平性ということもありますので、思いを持った生徒が応募できるよう、生徒に広く伝わるように学校にも周知していただき

たいと考えています。ただ、強制はしません。余り考えていない中で応募しなくてはいけないのかと思い、適当に応募してしまう生徒もいるかもしれませんので、学校にもよりますが、1, 2週間ほど少し考える期間をおいて、考えていたものがあれば応募したらどうかというような形になるかと思えます。委員長からお話をいただいた、チェックを付けた生徒をどのように資料に提示していくかというところにつきましては、生徒からこういう意見がありましたというような形で、資料を皆様に御覧いただこうと考えています。当然、一般の方の意見もございまして、生徒の意見はこういう考えであったのだなというところを御覧いただければと思っています。

依田委員長 キャッチコピーはどうなっていますか。

事務局 今のところ、学校とやり取りをしながら、大宮工業・浦和工業新校につきましては、「工業と情報の学びをリードし、先端産業で活躍できる資質能力を育成する学校」というキャッチコピーになっています。大人でも分かりやすいところなのですが、生徒にも分かりやすい内容ということで学校とやり取りした中で、今のところ、その案で進めています。

依田委員長 水島委員、よろしいでしょうか。

水島委員 ありがとうございます。私は仕事柄IT系をやっているものですから、こういうフォームに少し携わっているもので、このアイデア例のところ、「県立●●高等学校（●●部分の記載のみも可）」という形で考えられていたかと思うのですが、これだけを見ると、一般の方から御覧いただくと、校名をちゃんと考えなくてはいけない、校名の名称として出さなくてはならないというふうに感じられてしまうケースが多いのではないかと思います。先ほどお話をいただいた際に、正式な名称でなくても良い、例えば、この地域は緑が多いから緑という文字を入れていただきたいというようなアイデアでも大丈夫ですということでしたので、ここの部分でそれに近いような内容、「正式な名称でなくても構いません。例えば、○○○○でも良いです。」というような記載も考慮いただけると、非常に皆さんもアイデアを出しやすくなると感じました。こちらはあくまでも一つの参考として申し上げたいと思います。

事務局 今、御意見いただいた部分は、こちらの方でも検討して考えていきたいと思っています。

依田委員長 他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、資料2、資料3について御覧いただきながら、区切って、御意見、御質問をいただきたいと思っています。まず、資料2の「1 趣旨」、「2 募集期間」の部分、特に「2 募集期間」について、御意見ございますか。広報はいつから行いますか。

事務局 報道発表は6月14日を予定しております。各市町等に通知を発出していくのも、翌週の月曜日までには発送したいと考えております。できれば、同時に行いたいのですが、少しずれる可能性がございます。

依田委員長 6月14日に報道発表を行い、そこからスタートするということですね。

事務局 はい。そのとおりです。

依田委員長 他にはよろしいでしょうか。はい。それでは、「3 応募要件」、「4

応募方法」、「5 周知方法」の部分、「3 応募要件」については御意見をいただきましたが、他にはございますか。特に「3 応募要件」のところについて、どこからでも応募できることになりましたが、これについて、御意見ございますか。よろしいでしょうか。それでは、「6 その他」の1行目を御覧ください。新校準備委員会において校名案候補（複数案）を選定と記載してございます。ここは委員の皆様、私の方から御理解をいただきたいところなのですが、複数案を選定という言葉を使っておりますが、私ども準備委員会で、複数案を作りたいと思っております。ただアイデアの中から選ぶのではなくて、アイデアを参考に準備委員会で校名案を複数作りたいと思っておりますので、そこについては御理解をいただきたいと思っております。当然選んでも結構ですけれども、アイデアの中から選び取るということではなく、アイデアをくっつけたり、この準備委員会で出てきた意見の中で作っていくこともあるでしょうし、そこは、委員の皆様の自由な協議の中で校名案を作っていくかと思っております。複数案ということなのですが、一つに絞り込めば良いのではないかとお考えの方もいらっしゃるかとは思いますが、少し説明をさせていただきますと、先ほど事務局から話もありましたように、「6 その他」の3行目に、知事が議会に校名案を提案するというのがございます。県議会の承認を経て、学校の名前は決定されるわけなのですが、県議会に校名案として一つの案を提案するのは、知事です。提案者は知事ということになりますので、私どもの役割としては、知事の補助というような役割になってくるというところの御理解を賜りたいと思います。まず、準備委員会が作った案を教育委員会の案とします。教育委員会として、知事にこの案でいかがでしょうかということで提示することにします。そして、知事が正式に案として県議会に提案することになるのですが、知事に提示する際に、これしかありませんという提示は、なるべく避けたいと思っております。複数案を知事に提示する中で、準備委員会の委員の皆様で協議をした結果、このような複数案を検討しました、この中から知事に決定をいただくという形を取りたいが故のお願いも含めて、御理解をいただければと思っておりますが、そこについて御意見ございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。そのように進めてまいりたいと思います。事務局としては、大体どのぐらいの案をイメージしていますか。

事務局 素案を我々はまだ持っておりません。アイデアの数がどれぐらい出てくるのかも、まだ今のところ見当がつきません。以前の再編整備を例に挙げると、1校につき、平均すると大体500件前後かと考えています。細かい数字というのももちろんあるのですが、もう少し増えるかと予想しております。

依田委員長 事務局として、この準備委員会で決めていく複数案はどのぐらいの数を想定していますか。

事務局 3から5くらいになると考えています。これまでの前例等を踏まえると、そのぐらいかと思っております。

依田委員長 分かりました。あくまで事務局が持っているイメージはそのようなものなので、この準備委員会で複数案を作成したいと思います。その複数案に優先順位を付けるかどうかは、皆様方の協議に拠りたいと思います。案の中で順位を決める

のか、それとも、それぞれを全て並行でいくのか、ここは3回目になると思うのですが、皆様と協議をして詰めていきたいと思っております。それでは、先ほど渡辺委員から質問がありました、「6 その他」の4行目、アイデア募集の結果は校名決定後に公表するということになりますが、結果を公表する際には、案・理由・応募数があると思っておりますが、事務局はどこまで公表することを考えていますか。

事務局 案と応募数あたりかと思えます。

依田委員長 理由の公表は、今はまだ考えてないということですね。

事務局 そうです。かなり膨大になってしまう可能性もあるかもしれないためです。

まだ決定ではないため、皆様の御意見を聞きながら検討いたします。

依田委員長 分かりました。応募数は、会議の中では提示されないということで御理解いただけたかと思うのですが、一般の県民へ公表する前に、私ども委員には、いつ数字を示していただけますか。

事務局 公表前の段階で皆様にはお送りしようと思っております。公表されてからでは委員の皆様にも失礼と思っておりますので、事前にお伝えしようと考えております。

依田委員長 そういうことなのですが、御意見、御質問ございますか。はい。野澤委員お願いします。

野澤委員 校名アイデアの募集期間は、6月14日から7月26日とあります。これは一般の県民が対象になると思うのですが、我々の考えは、ここへ応募するということでしょうか。

依田委員長 それは、いわゆる準備委員の腹案をどうするかということでしょうか。

準備委員は、このアイデア募集に腹案を出して良いかということでしょうか。

野澤委員 この準備委員会で、皆さんに校名案を出してくださいという話が出ればそこで話ができますけれど、募集した中から選んで出す、または、それをどうするかということになってくると、我々の意見は出せないのかという感じがするのですが、そのあたりが少し分からないです。

事務局 他の委員会でも同じような御質問をいただいているところもありまして、是非、御意見があれば、応募していただければと思っております。

野澤委員 できればというのではなく、そうしないと我々の考えは選定の対象にならないという話でしょうか。

事務局 案をお持ちであれば応募していただき、委員として準備委員会の中で検討したいということであれば、例えば、合体するとか、新しい意見が出てきて、そこでこういうものもということもあれば、それもアイデアの中に含めていきたいと思っております。

野澤委員 おっしゃっていることは分かるのですが、はっきり言って欲しいことは、我々準備委員のアイデアは、応募されたものに追加して考えていただけるのか、それとも、応募されたもの以外は準備委員の意見は聞かないということなのでしょうか。

依田委員長 それははっきりしましょう。野澤委員のおっしゃっていることは、アイデアに全くないことを、校名案として準備委員会で提案して協議することはできるかということです。

事務局 はい。それはできると思っています。

依田委員長 それはできるということですよ。

事務局 はい。

依田委員長 確認です。当然、このアイデア募集に応募することも可能ですが、応募しなくても良いとして、この協議の場で発議していただくことは可能です。

野澤委員 分かりました。校名を公表するときに、理由を言わないという話が出たのですが、校名を決めた背景はきちんと説明しないと、なかなか納得していただけないのではないかと思います。いかがでしょうか。

依田委員長 公表する際に、理由を全く公表しないというのはどうなのかということだと思いますが、どうでしょうか。

事務局 はい。校名決定の理由については、必要と思っております。先ほど申し上げた理由というのは、それ以外に応募されたアイデアの理由のことです。そこは非常に多くなってしまうので、数も含めてということは、今のところ考えておりません。校名決定の理由と、こういうアイデアが出ていましたというところの公表は別と考えています。

野澤委員 分かりました。進めていく上で、断定しにくい部分があるとは思いますが、大事なところははっきりと言ってもらわないと曖昧になってしまいますので、そのあたりははっきりと申し上げていただきたいです。

事務局 承知いたしました。

依田委員長 はい。他にいかがでしょうか。石田委員お願いいたします。

石田委員 応募用紙のことなのですが、「統合する2校に在籍する生徒はこちらにチェック」とあるのですが、OBの方など学校に在籍していた人達になると思うので、ここが「在籍する」と今ということになるので、在籍していた人も含めた表現にした方が、先ほどのような思いも伝わると思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 OBはチェックの対象には入れていません。今、在籍している生徒の思いを伺いたいと思っています。OBには、直近で卒業された方もいらっしゃる、数十年前に卒業された方もいらっしゃる、一括りにしてしまうと、生徒の意見が浮き彫りにならないということもあり、このような形にさせていただきました。

依田委員長 他にいかがでしょうか。はい。渡辺委員お願いいたします。

渡辺委員 アイデア募集の概要について、参考資料3の過去の統合により開校した校名一覧がありますが、過去に開校済みの新校の名前を決めるに当たっては、同じように行われたのか、教えていただければと思います。

事務局 同じように進めております。ただ、少しニュアンスが違っているところもありまして、これから後で提案させていただくところもありますが、出された案の中から絞り込み、それを知事へ提案させていただき、そこから決めていくという流れは一緒です。

渡辺委員 分かりました。

依田委員長 ただ、数の公開、非公開について、過去は委員の皆様へ提示をしてきたのですか。

事務局 今までは提示してきたようです。



依田委員長 他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ここで、事務局から次回の会議についての提案があると伺っております。

事務局 それでは提案させていただきます。次回、8月の2回目と10月の3回目も同様かと思っておりますが、この委員会は、公開か非公開かを冒頭で皆様にお諮りさせていただいて決めています。2回目と3回目の準備委員会を非公開でお願いできないかという提案でございます。なぜかと言いますと、途中でお話しいただいたようなものが、例えば、外に出てしまったり、公開すると議事録が出てしまいます。皆様に安心して、出てきたアイデアを準備委員会の中で協議いただきたいと思っておりますし、その進捗の部分をお話しさせていただきました。生徒募集も絡んできますので、校名は計画どおり進めていきたいというところもちろんございます。なぜここでお諮りするかというと、本来であれば、冒頭でお諮りするところなのですが、次回、会議を開催しますが非公開を予定していますという形で記載させていただければと考えています。公開か非公開か分からず、傍聴される方が来ってしまう可能性があります。校名検討ですので、今度は何名か希望される方がいらっしゃるかもしれません。2回目の会議の冒頭で非公開となってしまうと、今日は非公開ということでお帰りいただかなくてはいけなくなってしまうところもありまして、皆様の御同意がいただけるようであれば、2回目と3回目は非公開という形で御提案させていただければと思います。

依田委員長 3回目については2回目の会議でまた諮りたいと思うのですが、良いでしょうか。それでは、皆様にお伺いしますが、次回の準備委員会を非公開としてよろしいかどうかですが、まずは御意見ございますか。はい。よろしいでしょうか。それでは、事務局の提案どおり、非公開としてよろしいでしょうか。はい。御賛同いただいたと承知いたしました。それでは2回目については、非公開ということで決定いたしました。事務局はホームページなど次回の委員会の開催を公開する際には、非公開の旨の記載をお願いいたします。

事務局 はい。承知いたしました。

依田委員長 委員の皆様にご決定した後で申し上げるのは、少し良くないのかもしれませんが、PTAや同窓会、行政関係者、経済団体、様々なところから代表として御出席を賜っているかと思っておりますが、非公開となりますので、協議の内容につきましては、他言ができない形になります。そこにつきましては難しい部分もあるかとは思いますが、御了解を賜りたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。それでは2回目の会議については非公開ということをお願いいたします。それでは、まだ御発言をいただいている委員の皆様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議については以上で終了させていただきます。